

科目 数学A

单位数： 2 单位

の目標：

基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学的に考察して表現・処理する力を身に付ける。

課題に対して数学的論拠に基づいて判断し、的確かつ簡潔に表現する力を身に付ける。

数学のよさを認識し積極的に活用する態度を養う。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	場合の数 ・集合の概念を理解させ、次に「場合の数をもれなく重複することなく数え上げる」法則として、順列と組合せを理解できる。 ・基本的な事柄を理解し、ものごとを統合的に見ることの有用性を認識できる。 ・積の法則、和の法則が場合の数の基本となっていることを理解し、具体的な場	1章 場合の数と確率 1、場合の数 2、確率	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	○	○	○	2
	整式の加法・減法・乗法 ・同類項の処理、指数法則、乗法公式などを用いて加法・減法・乗法の計算ができる。 ・順列の総数を $n!$ などを用いて求められる。 ・組合せの意味を理解し、いろいろな総数を求められるようにする。		授業中や考査前の課題プリントが正しく解き解答されており、きちんと期限内に提出されている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	確率・これまでに学んできた確率の概念を、より数学的にまとめるとともに、確率の面白さや有用性を分解できる。 ・試行、事象、根元事象などの用語の意味を理解し、ど根元事象も同様に確からしいときの求め方について理解できる。	確率 ①事象と確率 ②確率の基本性質 ③独立な試行とその確率 ④条件付き確率と乗法定理 ⑤期待値	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	○	○	○	6
	事象と確率 ・集合の考え方をういて、確率の基本性質について理解できる ・補集合を考えることにより、余事象の確率を求められるようにする。 ・変量の値と確率の対応が与えられたときに、計算ができるようにする。		授業中や考査前の課題プリントが正しく解き解答されており、きちんと期限内に提出されている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

2 学 期	図形の性質 ・三角形や円、直方体や三角錐などの基本的な図形の性質についての理解を深め、図形についての数学的な見方や考え方を豊かにする。 ・図形の性質を論理的に考察し、表現する能力を育てる。 ・三角形の重心・内心・外心とその性質について理解する。	2章 図形の性質 ①三角形の性質 1、三角形と線分の比 2、三角形の重心・内心・外心	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。	○	○	○	5
	円の性質 ・平面図形の基本である円の性質として、円に内接する四角形の性質を軸とした、いくつかの性質を理解する。 ・三角形の重心・内心・外心とその性質について理解する。 ・方べきの定理を理解し、活用できるようにする。	②円の性質 1、円に内接する四角形 2、円の接線と弦のつくる角 3、方べきの定理 4、2つの円	授業中や考査前の課題プリントが正しく解き解答されており、きちんと期限内に提出されている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	作図 ・作図の基本をもとにして、いろいろな長さの線分を作図する方法を理解する。 ・空間における直線や平面の位置関係について理解する。 ・いろいろな長さの線分や平面の位置関係を理解できるようにする。	③作図		○	○	○	7
	空間図形 ・空間における直線や平面の位置関係について理解する。 ・空間における直線と平面の決定、直線や平面の位置関係、三垂線の定理、多面体の性質を理解する。 ・図を通して、直観的に判断できるようにする。	④空間図形 1、空間における直線と平面 2、多面体	各単元の基本を理解し、教科書レベルの問題を解ける。 例題程度の問題が解け、その応用問題をきちんと式を書いて解け、数学的な考え方ができる。 授業中や考査前の課題プリントを正しく解ける	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

